学校だより　NO.２４９　　平成 28 年 12 月

# 戸山

新宿区立　戸山小学校

## 「学ぶ」ということ

副校長　福井　みどり

先日の展覧会にはたくさんの保護者・地域の皆様にお越しいただきありがとうございました。今回の展覧会は日本の文化を活用した作品が多く展示されました。学年を重ねる毎に子ども達の「技」が増えていく様子もご覧いただけたかと思います。保護者の方からは「見ていて元気になる展覧会だった」「子ども達の写真付きのコメントもよかった」「どの作品も、子ども達一人一人の想いが表現されていた」「会場に流れる BGM も子どもの歌声でよかった」等々、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。ありがとうございました。

図工の学習を指導する土屋教諭と松下教諭、家庭科を指導する成田教諭をはじめ私たち教員は、子ども達が作品を作る前に必ず見本を作ります。子ども達は教師の作品に憧れて様々な技を習得し、自分の作品に活用していきます。

「学ぶ」の語源は「まねる」だと言われています。最初はお手本となる師の型をまねることから、学びはスタートするのだと思います。もちろん、図工だけでなく、全ての教科でこの「まねる」ことで習得する学習はとても大切です。国語の毛筆や硬筆の学習では、お手本をよく見て、字型の整った字を書くことが出来るよう学習していきます。体育の器械運動では、教師や友達の技をお手本に学習する場面があります。「学ぶ」は、まず「まねる」ことから始まるようです。

そうであるならば、私たちは次の人達のためにお手本となる生き方をしていきたいです。大人は未来ある子ども達のために、子ども達は下級生のために、次につなげるお手本となって、毎日を過ごしたいものですね。

# 学年の窓　５年

### 伝統を受け継ぎ、伝える

５年生は総合的な学習で、地域に伝わる「鉄炮組百人隊」や「オオクボツツジ」について学びました。ゲストティーチャーの新倉さんに聞いたお話やそれぞれの班で調べたことを、紙芝居やポスター、マップなどにまとめ下級生に伝える活動をしました。学習を通し、伝統を受け継ぎ、次の世代に伝えていく大切さを知ることができました。

本校では秋の文化的行事の実施前に、６年生が体育館の用具の片付けを、実施後に５年生が用具の設置をしています。高学年が学校行事を支えている取り組みであり、これもまた、一つの「伝統」です。

今年度も、展覧会終了後、５年生が体育館を平常の状態に戻す仕事をしました。自分が任されたことを終えると、自ら次の仕事を見付けたり、友達の仕事を手伝ったりと率先して動きました。学年の人数が少ない中でも、協力して、時間内に活動を終えることができました。先日行われた就学時健診では、緊張した面持ちではありましたが、新しい１年生を案内する役割をしっかり果たすことができました。

来年度、最高学年として学校を支えていけるよう、伝統を受け継ぎ伝えていくことができるよう、これからも５年生は一歩一歩成長していきます。

## 展覧会

寒い中、沢山の方のご来場ありがとうございました。

会場外壁
“展覧会の
見どころ”

会場内部